

## ( 数 学 ) 科 授 業 シ ラ バ ス

科目名	単位数 (標準単位)	学科・学年・学級
基礎数学 (学校設定科目)	2 単位 (2)	芸術科 第 3 学年 6 組

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1. 数学 I, A 分野の問題演習に取り組むことを通して, 各分野での基礎基本の定着を図る。 2. 問題演習を通して, 各分野での既習事項のさらなる発展・深化を図り, 応用力を養う。		
使用教科書・副教材等	共通テスト対策実力養成 数学 I・A・II・B 基礎徹底演習 (ラーンズ)	学習形態	一斉授業

### 2 学習計画

学期	月	学習項目 (単元名等)	学 習 内 容	評価の観点 評価基準	備考	考查 範囲
一 学 期	4 月	1. 数と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式の計算の基本法則</li> <li>・数についての基本性質の理解</li> <li>・1次不等式の性質や解法</li> <li>・絶対値を含む方程式・不等式</li> <li>・集合・集合の要素の個数</li> <li>・命題と条件, 逆・裏・対偶</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な式の計算と数の性質および1次不等式が解く事ができるか</li> <li>・絶対値を適切に処理し, 方程式・不等式が解けるか</li> <li>・集合が正しく処理でき, 論証に習熟しているか</li> </ul>		中間
	5 月	2. 2次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数のグラフの性質とその平行, 対称移動と最大・最小</li> <li>・2次関数のグラフの方程式・不等式への応用・</li> <li>・2次関数の決定と2次方程式の解の存在範囲への応用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数のグラフを利用し種々の問題に利用できるか。方程式・不等式も解けるか</li> </ul>		
	6 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角比の定義と相互関係</li> <li>・補角, 余角の性質</li> <li>・正弦定理, 余弦定理の利用</li> <li>・三角形の辺と角, 面積への応用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角比の意味と図形への応用ができるか</li> <li>・正弦定理および余弦定理を適切に利用できるか</li> </ul>		期末
7 月	3. 図形と計量					
【1学期の評価】定期考查 (中間・期末)、誤答ノートの提出状況、授業への参加状況などをもとに 100 点満点で評価する。						

二 学 期	9 月	4. データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの整理, データの代表値</li> <li>データの散らばりと箱ひげ図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いくつかのデータの整理を通して, データの分析ができるか</li> </ul>	中間
	1 0 月	《数学A》 5. 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>分散と標準偏差</li> <li>場合の数・順列・円順列</li> <li>重複順列・組合せ・同じものを含む順列</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場合の数をもれなく重複無く数えることができるか</li> <li>種々の確率を求めることができるか</li> </ul>	
		1 1 月	6. 図形の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>確率とその基本性質</li> <li>独立試行, 反復試行の確率・条件付き確率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>種々の確率を求めることができるか</li> </ul>
	1 2 月		7. 整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の辺と角</li> <li>角の二等分線と比の性質</li> <li>三角形の五心・チェバ・メネラウスの定理</li> <li>円周角と弧, 円周角の定理とその逆</li> <li>円と四角形・円の接線・接弦定理・方べきの定理・2円の位置</li> <li>約数と倍数・ユークリッドの互除法・整数の性質の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形に関する性質とその利用ができるか</li> <li>円に内接する図形の性質が利用できるか</li> <li>接弦定理や方べきの定理が利用できるか</li> <li>整数の性質を利用して, 整数に関する問題が解けるか</li> </ul>
【2学期の評価】定期考査(中間・期末)、誤答ノートの提出状況、授業への参加状況などをもとに100点満点で評価する。					
三 学 期	1 2 3 月	統合問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各節の統合問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合的な問題に対応できるか</li> </ul>	
【年間の評価】「基礎数学」の評価は上記の1学期と2学期の評価を平均して算出し、5段階の評定とする。評価と評定との関連は以下の通り 80点以上…5, 65～79点…4, 50～64点…3, 35～49点…2, 34点以下…1					